



第154号

昭和39年7月20日 発行所 宮崎県東郷郡 東郷村役場

六月定例村議会概要報告書

六月定例会は六月十八日に招集され会期二日間、村長専決処分報告議案四件、陳情二件、請願二件が付議され何れも原案どおり可決した。尚定例会であるため一般質問が許され十八日は殆んど一般質問で終り十九日に議案の審議となった。

渡辺喜久雄議員 議会活動など村政に対する広報活動は適確に行われていくか。全村民が村政を知る唯一の広報手段は三月定例会の一般質問事項中事実と若干異なる記事があるが適確な報道を要する。次に三月定例会で教育長は学力向上について教育としては全村的にムードを高めるために目下立案中と言われたがその構想、具体的内容について説明願いたい。次に農業構造改善事業も愈々実施の段階を控えているが対象外農家が七割もあると聞き、事業実施の段階を待つまでもなくこれら農家を助長し積

極的に指導推進すべきである。次に農業改良普及所が西郷村に移ると聞くが将来の農業改良普及が手薄にならないような心配はないか。という質問で、黒木村長から広報活動は定期的には村報で臨時のものでは広報車で行っており充分であると思う。ただ議会報告は議事録をそのまま原稿にしていくのが実情で後で職員にもよく聞いてみたい。次に農業構造改善事業であるが実施に仲々むづかしい問題がある。果樹をやろうとすれば一ヶ所十町歩以上塩月教育長から学力向上の問題については公民館長会

6月定例 村議会寸景



議場に於ける議員



控室に於ける議員

えはないか。次に学力向上の問題に連連し全校に完全給食を実施となると相当の経費を要し容易ならぬと思うが村内一ヶ所に給食センターでも造って実施すれば経費も少なく済み完全実施されるのではないか。この点検討されていいか。との質問に、黒木村長から林道の開き

は要は地元負担の問題である。農道、林道を開き、林道に編入してゆくたし、幹線となる林道は河原林道を除いては殆んど完成しており残されたのは支線である。この支線には民有林が非常に多い。必要が地元の負担が可能なか、開きたい。と答弁

塩月教育長から給食センターは出来ぬことはいないと、県の指示はうけているが、現在未実施校の生徒は一、四七〇人程度で国の補助も大したことはない。大部分の自己財源というところから、又設置するとなると水の豊富な所でない限り、センターを造れば学校の給食費が減り相当の人員費は減るがその代り給食用の自動車を購入しなければならぬ。転手の雇入れの問題もある。そういうことでまだ結論がでない。と答弁

松原千三郎議員から村県道で未登記のものが相当あると思う。毎年この費用を予算に計上され作業を進めていられるが将来の問題もあ

塩月教育長から学校の基準坪数は従来児童、生徒数で算定していたが先般法の改正で学級により算定された。それと小学校の屋体に三分の一の国庫補助がつくように改正された。その結果東郷小が七坪、福瀬小が一坪のオーバとなり、福瀬小が七坪、寺迫小が一坪、坪谷中が五坪、分

中田産業課長から従来去勢牛の肥育は畜舎で行ったが最近収益性、生産性を高めるには省力的な経営をしなければいけないという。鶏戸と組合せの方がよいという。生一〇年生に放牧された。面積は約三町歩で昨年五月に生後六〇日前後の去勢牛七頭(価格三三、〇〇〇円)を、七頭(価格三三、〇〇〇円)を放牧した。牧場は六区に内柵を作り一柵内に五日六日づつ放牧し五月二十七日以来毎月二十七日に体重測定を行った。五月は平均一七七斤、九月は二〇九斤、七月に降した畜舎に入れたが野草から濃厚資料に急にかえたため下痢を起して体重は二〇七斤に減じた。失敗であるが尊い体験として、学生の非行については

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

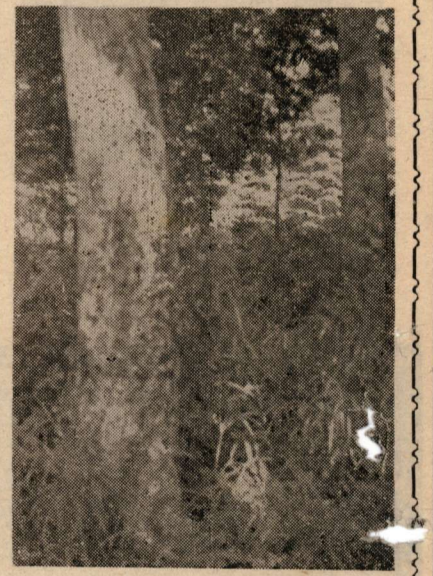
岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特

岩野春治議員から本年度の奨学資金の貸与については希望者が多く選定に困難があったと思うがこれを機会に増額の意志はないか、次に社会教育問題について青少年教育問題について特



牧水 大木の幹の片へのましろきにこぼれぬる夏のかなしみ

御説のとおりでこの教育にはいろいろあるが一番大事なこととは幼児教育である。これについては幼稚園、保育園等も考えられるけれどもまず家庭教育が最も大切と考える。本村も各小学校に家庭教育学級を設けて父母の教育を行っているが幸い本年度は文部省の家庭教育学級が二学級割当てられた。これを活用して将来幼児教育を立派な日本人の育成に努力したい。と答弁

(二めんにつづく)



